

平成23年8月23日

専門分野の枠を超えた高度な博士人材の育成**～博士課程教育リーディングプログラム 広島大学 3件申請～**

国際的に活躍できる博士人材を育成するため文部科学省が平成23年度から実施する「博士課程教育リーディングプログラム」に、広島大学は3件のプログラムを申請しました。

本プログラムは、博士課程を設置する国公立大学が、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーを養成するために、養成すべき人物像を明確に設定し、専門分野の枠を超え博士課程前期・後期一貫した質の保証された学位プログラムを構築・展開する事業が対象とされています。

広島大学が申請したプログラムは、以下の3件のプログラムで、いずれも既存の研究科・専攻を単位とするものではなく、部局横断的な学位プログラムです。

本学では来月中に、「広島大学大学院リーディングプログラム機構」を立ち上げる予定です。本機構では、グローバルリーダーの養成に関わる企画・立案、実施、学位の審査も行います。この新たなプログラムに選抜された優秀な学生には、奨学金の支給、授業料免除、学生宿舎の無料提供など経済的支援も行う予定です。

【申請プログラム名称】

- ・グローバル環境リーダー育成プログラム
- ・放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム
- ・半導体革新集積科学リーダー育成プログラム

【申請プログラムの概要】

プログラム名称：グローバル環境リーダー育成プログラム [複合領域型（環境）]

本プログラムでは、人類が解決を迫られている複雑な環境課題に挑戦し、世界の平和で持続的な発展に貢献するため、環境安全保障を基盤としたアジア地域のグリーン成長を牽引できる環境経営能力を有する博士人材を育成する。

分野融合教育研究を推進するため、分野の枠を超えたユニット・ローテーション演習や長期インターンシップを行い、また、博士課程5年一貫教育を英語により実践し、優秀な学生を世界中から受け入れるため、秋期入学（10月）や4段階の学生選抜を導入する。

平成24年10月より学生を受け入れ、平成29年度から毎年10人以上のグローバル環境リーダーを輩出する。

プログラム名称：放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム [複合領域型（横断的テーマ）]

原爆からの復興を支えた広島大学の実績と経験を生かして、医学、環境学、工学、理学、農学、社会学、教育学、心理学、などの各専門学術分野を結集し、「放射線災害復興学」を確立し、「放射線災害から生命を護る人材」、「放射能から環境を護る人材」、「放射能から人と社会を護る人材」を連携機関、連携大学院、海外連携大学、国際機関、関連企業、地方自治体と協働して育成する。この人材育成を通して、放射線災害に適正に対応し、明確な理念の元で復興に貢献できる判断力と行動力を有した、国際的に活躍できる分野横断的統合的グローバルリーダー（フェニックスリーダー）を輩出し、21世紀のモデルとなる、安全・安心の新社会システムの樹立に貢献する。

プログラム名称：半導体革新集積科学リーダー育成プログラム [オンリーワン型]

広島大学は、昭和61年にはクリーンルームを立ち上げ、学生自ら先端トランジスタを試作できる環境を整えた。また5年前には、産学官連携のもと、トランジスタモデル HiSIM において日本初の世界標準化を実現し、その後モデルの開発の世界拠点として数々の標準モデルを輩出している。

本プログラムでは、半導体産業界において科学・技術の発展を牽引し、国際社会においてはリーダーとして革新的技術の創成を先導できる能力と活力を持った人材を育成する。

博士1・2年次では、先端基礎科学科目を設け、基礎力・応用力をつける教育を行う。博士3から5年次では、これまで培った産業界などの連携を教育面にも発展させて、「プロジェクト型実践研究・教育」を実施する。また3カ月の海外研究を義務付け、国際的なコミュニケーション能力も養う。

【お問い合わせ先】

競争的資金獲得戦略室 TEL:082-424-5928
